

礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

デーヴォ ガイド



2021.12.20-26

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

37:14 これに耳を傾けよ。ヨブ。神の奇しいみわざを、じっと考えよ。
37:15 あなたは知っているか。神がどのようにこれらに命じ、その雲にいなずまをひらめかせるかを。
37:16 あなたは濃い雲のつり合いを知っているか。完全な知識を持つ方の不思議なみわざを。
37:17 また、南風で地がもだすとき、あなたの着物がいかに熱くなるかを。
37:18 あなたは、鑄た鏡のように堅い大空を神とともに張り延ばすことができるのか。
37:19 神に何と言うべきかを私たちに教えよ。やみのために、私たちはことばを並べることができない。
37:20 私が語りたいと、神にどうして伝えられようか。人が尋ねるなら、必ず彼は滅ぼされる。
37:21 今、雨雲の中に輝いている光を見ることはできない。しかし、風が吹き去るとこれをきよめる。
37:22 北から黄金の輝きが現われ、神の回りには恐るべき尊厳がある。
37:23 私たちが見つけることのできない全能者は、力とさばきにすぐれた方。義に富み、苦しめることをしない。
37:24 だから、人々は神を恐れなければならない。神は心のこざかしい者を決して顧みない。

エリフは他の友人たちが、因果応報的神観に囚われて、神を人間の価値判断に従う程度の存在にしているのを聞きながら、それよりもっと高いレベルの神観を論じています。またそのようなレベルの高

い議論をしているという自負があったでしょう。超越的で絶対的な神観を論じているだからなおさらです。

しかしヨブの心には届きませんでした。人間はどんなに立派なことを主張しても、それを人に得心させるのは神だからです。エペソ書には「1:17 どうか…栄光の父が、神を知るための知恵と啓示の御霊を、あなたがたに与えてくださいますように。…神のすぐれた力がどのように偉大なものであるかを、あなたがたが知ることができますように。」とありますから、聖霊によって神を知る以外にないし、また聖霊によって語る必要があるのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



21日 火曜

ヨブ記

38:1 主はあらしの中からヨブに答えて仰せられた。

38:2 知識もなく言い分を述べて、摂理を暗くするこの者はだれか。

38:3 さあ、あなたは勇士のように腰に帯を締めよ。わたしはあなたに尋ねる。わたしに示せ。

38:4 わたしが地の基を定めたとき、あなたはどこにいたのか。あなたに悟ることができるなら、告げてみよ。

38:5 あなたは知っているか。だれがその大きさを定め、だれが測りなわをその上に張ったかを。

38:6 その台座は何の上にはめ込まれたか。その隅の石はだれが据えたか。

38:7 そのとき、明けの星々が共に喜び歌い、神の子たちはみな喜び叫んだ。

38:8 海がふき出て、胎内から流れ出たとき、だれが戸でこれを閉じ込めたか。

38:9 そのとき、わたしは雲をその着物とし、黒雲をそのむつきとした。

38:10 わたしは、これをくぎって境を定め、かんぬきと戸を設けて、

38:11 言った。「ここまででは来てもよい。しかし、これ以上はいけない。あなたの高ぶる波はここでどまれ。」と。

38:12 あなたが生まれてこのかた、朝に対して命令を下し、暁に対してその所をさし示し、

38:13 これに地の果て果てをつかまえさせ、悪者をそこから振り落とさせたことがあるか。

38:14 地は刻印を押された粘土のように変わり、衣服のように色づけられる。

38:15 悪者からはその光が退けられ、



振りかざす腕は折られる。

38:16 あなたは海の源まで行ったことがあるのか。深い淵の奥底を歩き回ったことがあるのか。

38:17 死の門があなたに現われたことがあるのか。あなたは死の陰の門を見たことがあるのか。

38:18 あなたは地の広さを見きわめたことがあるのか。そのすべてを知っているなら、告げてみよ。38:19 光の住む所に至る道はどこか。やみのあるその場所はどこか。

38:20 あなたはわたしをその国まで連れて行くというのか。また、その家に至る通り道を見分けるというのか。

38:21 あなたが知っている……そのとき、あなたが生まれ、あなたの日数が多い、と

「あらし」とは、ヨブの子どもたちに襲いかかった苦難ですが、そのような苦難の中から主は答えたという意味もあるでしょう。苦しい試練があって初めて神のみこころに向き合い、答えをいただくということがあるものです。そしてそれは生涯の宝になるものです。勇士のように神の答えを聞く決心をしましょう。

また、今何かを学び、また訓練して何かを極めようとしているなら、その限界よりもはるかに高い存在であられる神を常にあがめましょう。主の栄光のためにこそ、私たちはさらに向上しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



22日 水曜

ヨブ記



38:22 あなたは雪の倉にはいったことがあるか。雹の倉を見たことがあるか。
38:23 これらは苦難の時のために、いくさと戦いの日のために、わたしが押えているのだ。
38:24 光が分かれる道はどこか。東風が地の上で散り広がる道はどこか。
38:25 だれが、大水のために水路を通し、いなびかりのために道を開き、
38:26 人のいない地にも、人間のいない荒野にも、雨を降らせ、
38:27 荒れ果てた廃墟の地を満ち足らせ、それに若草を生やすのか。
38:28 雨に父があるか。露のしずくはだれが生んだか。
38:29 氷はだれの胎から生まれ出たか。空の白い霜はだれが生んだか。
38:30 水は姿を変えて石のようになり、深い淵の面は凍る。
38:31 あなたはすばる座の鎖を結びつけることができるか。オリオン座の綱を解くことができるか。
38:32 あなたは十二宮をその時々にしたがって引き出すことができるか。牡牛座をその子の星とともに導くことができるか。
38:33 あなたは天の法令を知っているか。地にその法則を立てることができるか。
38:34 あなたの声を雲にまであげ、みなぎる水にあなたをおおわせることができるか。
38:35 あなたはいなずまを向こうに行かせ、「私たちはここです。」とあなたに言わせることができるか。
38:36 だれが心のうちに知恵を置いたか。だれが心の奥に悟りを与えたか。

38:37 だれが知恵をもって雨雲を数えることができるか。だれが天のかめを傾けることができるか。
38:38 ちりが溶け合っかたまりとなり、土くれが堅く固まるとき。

雪、雨、氷、星、野生動物の生態など、人間にはわからないことが無限にあります。ときには「神が造った」と簡単に言いますが、それは未信者を説得するためだけではありません。私たち自身がへりくだるためでもあるのです。神さまに不平や不満、反論は誰もが持つものです。それは自然な感情かもしれませんが、ただしその後が重要です。神の偉大さを忘れずに、その神の前にひれ伏すかどうかです。主の偉大さを忘れずに神のみこころを聞きましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



38:39 あなたは雌獅子のために獲物を狩り、若い獅子の食欲を満たすことができるか。

38:40 それらがほら穴に伏し、茂みの中で待ち伏せしているときに。

38:41 鳥の子が神に向かって鳴き叫び、食物がなくてさまようとき、鳥にえさを備えるのはだれか。

39:1 あなたは岩間の野やぎが子を産む時を知っているか。雌鹿が子を産むのを見守ったことがあるか。

39:2 あなたはこれらがはらんでいる月を数えることができるか。それらが子を産む時を知っているか。

39:3 それらは身をかがめて子を産み落とし、その胎児を放り出す。

39:4 その子らは強くなり、野原で大きくなる、出て行って、もとの所には帰らない。

前の部分からの続きです。神様から問われる形で、人間の限界が明らかにされています。現代ならばもっと広い分野の事柄について、神様から「できるか。」「だれか。」「知っているか。」と問われることでしょう。たとえば火星に探査機を送り込んだくらいで、全宇宙を知ったことにはならないのです。

また私たちは自分自身の人生についても問われることでしょう。現実的に言って、私たちは神様から教えていただかなければ何も知ることができませんし、正しい判断をすることはできないのです。神様の前にもう一度ひれ伏して、その偉大さと權威のを認めましょう。また自分自身の無知と限界を認めましょう。

その上で、神様のあわれみと慈しみを求めましょう。全ての善き物は神様から与えられます。ですから、どんなときにも諦めることはありません。大胆に希望を持ちましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 エッサイの根株から新芽が生え、その根から若枝が出て実を結ぶ。

11:2 その上に、主の霊がとどまる。それは知恵と悟りの霊、はかりごとと能力の霊、主を知る知識と主を恐れる霊である。

11:3 この方は主を恐れることを喜び、その目の見るところによってさばかず、その耳の聞くところによって判決を下さず、

11:4 正義をもって寄るべのない者をさばき、公正をもって国の貧しい者のために判決を下し、口のむちで国を打ち、くちびるの息で悪者を殺す。

11:5 正義はその腰の帯となり、真実はその胸の帯となる。

11:6 狼は子羊とともに宿り、ひょうは子やぎとともに伏し、子牛、若獅子、肥えた家畜が共にいて、小さい子どもがこれを追っていく。

11:7 雌牛と熊とは共に草を食べ、その子らは共に伏し、獅子も牛のようにわらを食う。

11:8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、乳離れた子はまむしの子に手を伸べる。

11:9 わたしの聖なる山のどこにおいても、これらは害を加えず、そこなわない。主を知ることが、海をおおう水のように、地を満たすからである。

11:10 その日、エッサイの根は、国々の民の旗として立ち、国々は彼を求め、彼のいこう所は栄光に輝く。

11:11 その日、主は再び御手を伸ばし、ご自分の民の残りを買い取られる。残っている者をアッシリヤ、エジプト、パテロス、クシュ、エラム、シヌアル、ハマテ、海の島々から買

い取られる。

11:12 主は、国々のために旗を揚げ、イスラエルの散らされた者を取り集め、ユダの追い散らされた者を地の四隅から集められる。

11:13 エフライムのねたみは去り、ユダに敵する者は断ち切られる。エフライムはユダをねたまず、ユダもエフライムを敵としない。

11:14 彼らは、西の方、ペリシテ人の肩に飛びかかり、共に東の人々をかすめ奪う。彼らはエドムとモアブにも手を伸ばし、アモン人も彼らに従う。

11:15 主はエジプトの海の入江を干上がらせ、また、その焼けつく風の中に御手を川に向かって振り動かし、それを打って、七つの流れとし、くつばきのみまで歩けるようにする。

11:16 残される御民の残りの者のためにアッシリヤからの大路が備えられる。イスラエルがエジプトの国から上って来た日に、イスラエルのために備えられたように。

「若枝」とは救い主イエス様のことです。イスラエルの回復という文脈の中で、イエス様が登場するということは、真の回復のためには真の救い主が必要だということです。

イスラエルは結局、どんなに警告されても罪を犯し、また自分で悔い改めることもできなかったのです。それはまさに人間の有様です。そのような者たちのために、根底からの救いを与えてくださったのがイエス様なのです。

それは単に警告だけではなく、霊的な真理と喜びを与えて導いてくださる方です。私たちもこのイエス様に喜びとともに導かれているのです。

またこのような救い主は、単に心の問題だけではなく、全世界や自然界の支配者でもあられます。

やがて主の秩序のもとに、狼、子羊、小さい子が平和に暮らす世界が実現するのです。

主イエス様の偉大な救いと、権威を喜びつつ、このイエス様を頼り、従いましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



1:9 すべての人を照らすそのまことの光が世に来ようとしていた。

1:10 この方はもとから世におられ、世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。

1:11 この方はご自分のくにに来られたのに、ご自分の方は受け入れなかった。

1:12 しかし、この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった。

1:13 この人々は、血によってではなく、肉の欲求や人の意欲によってもなく、ただ、神によって生まれたのである。

1:14 ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

1:15 ヨハネはこの方について証言し、叫んで言った。「『私のあとから来る方は、私にまさる方である。私より先におられたからである。』と私が言ったのは、この方のことです。」

1:16 私たちはみな、この方の満ち満ちた豊かさの中から、恵みの上にさらに恵みを受けたのである。

1:17 というのは、律法はモーセによって与えられ、恵みとまことはイエス・キリストによって実現したからである。

1:18 いまだかつて神を見た者はいない。父のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

まったと思われませんが、それ以前に神様が意志と目的を持って、全てを御計画なさっていました。この神様の御人格そのものがギリシャ語で言うロゴスであり、日本語ではこれを「ことば」と訳しました。

「ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。」「ことばは神であった」「すべてのものは、この方によって造られた。」とありますから、ことばであられるイエス様が神であり創造主であることが明確です。そもそもイエス様は御父と同一であられるからです。

このイエス様を証したのが、バプテスマのヨハネですが、多くの人がそれを受け入れなかったことが分ります。「世はこの方によって造られたのに、世はこの方を知らなかった。…受け入れなかった。」とあるとおりです。しかし私たちは「この方を受け入れた人々」です。このクリスマス時期に、受け入れなかった人々と同じ日々を送るのではなく、神の子どもとされた特権を感謝しつつ、信じた者の行いをしましょう。

「ことばが人と」なるとは、神の本質がイエス・キリストに宿っているということです。永遠無限の存在が有限なる世界にとどまるといのは、あり得ないことですが、神様の全能がそれを実現したのです。それだけでなく、「この方は恵みとまことに満ちておられた」とあります。そのご人格が神を表わしておられたことが分ります。

そして、モーセを通して与えられた律法を全うしたことは当然ですが、それ以上に恵みとまことを実現されました。恵とは罪の赦しであり、まこととは救いの約束の実現です。

イエス様のすばらしさは、このように日常の言葉では言い表すのが不可能なほど偉大なものです。私たちは、言葉や定義ではなく、体験する必要があります。ここにあらわされているイエス様のすばらしさを体験することを、主に願い求めてゆきましょう

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



39:5 だれが野ろばを解き放ったのか。だれが野性のろばの綱をほどいたのか。
 39:6 わたしは荒れた地をその家とし、不毛の地をその住みかとした。
 39:7 それは町の騒ぎをあざ笑い、追い立てる者の叫び声を聞かない。
 39:8 山岳地帯はその牧場、それは青い物を何でも捜す。

39:9 野牛は喜んであなたに仕え、あなたの飼葉おけのそばで夜を過ごすだろうか。
 39:10 あなたはあぜみぞで野牛に手綱をかけることができるか。それが、あなたに従って谷間を耕すだろうか。
 39:11 その力が強いからといって、あなたはそれに抛り頼むだろうか。また、あなたの働きをこれに任せるだろうか。
 39:12 あなたはそれがあなたの穀物を持ち帰り、あなたの打ち場で、これを集めるとでも信じているのか。
 39:13 だちょうの翼は誇らしげにはばたく。しかし、それらはこうのとりの羽と羽毛であろうか。
 39:14 だちょうは卵を土に置き去りにし、これを砂で暖めさせ、
 39:15 足がそれをつぶすことも、野の獣がこれを踏みつけることも忘れている。
 39:16 だちょうは自分の子を自分のものでないかのように荒く扱い、その産みの苦しみがむだになることも気にしない。
 39:17 神がこれに知恵を忘れさせ、悟りをこれに授けなかったからだ。
 39:18 それが高くとはびねるとき、馬とその

乗り手をあざ笑う。
 39:19 あなたが馬に力を与えるのか。その首にたてがみをつけるのか。
 39:20 あなたは、これをいなごのように、とはびねさせることができるか。そのいかめしいいなきは恐ろしい。
 39:21 馬は谷で前掻きをし、力を喜び、武器に立ち向かって出て行く。
 39:22 それは恐れをあざ笑って、ひるまず、剣の前から退かない。
 39:23 矢筒はその上でうなり、槍と投げ槍はきらめく。
 39:24 それははいきりたつて、地を駆け回り、角笛の音を聞いても信じない。
 39:25 角笛が鳴るごとに、ヒヒーンといいななき、遠くから戦いをかぎつけ、隊長の怒号と、ときの声を聞きつける。
 39:26 あなたの悟りによってか。たかが舞い上がり、南にその翼を広げるのは。
 39:27 あなたの命令によってか。わしが高く上がり、その巣を高い所に作るのは。
 39:28 それは岩に宿って住み、近寄りたいたい切り立つ岩の上にいる。
 39:29 そこから獲物をうかがい、その目は遠くまで見通す。
 39:30 そのひなは血を吸い、殺されたものがある所に、それはいる。

主は野生動物と家畜についてヨブに語りかけます。その生態はなぞが多いばかりか、環境に適應しながら生きるすべをどのように獲得したのか、主は問いかけます。(実際に動物の機能が、偶然の積み重ねによる進化であるとしたら、環境に適合できる形態になる前に絶滅していたでしょう。)

理性で考えたとしても、私たちはただ神の前にひれ伏すのみです。そして、偉大な神は秩序と摂理の主であることを、心に留めて信頼するのみです。また野牛に仕事させられないように、神の造られた世界を思い通りにはできません。その点でもへりくくだりつつ、神のみこころを聞きましょう。

さらに主は動物の能力についてヨブに語ります。だちょうは飛べないが、足は速く、しかし子育てに関しては無頓着です。他の動物もそうですが、そのような本能の違いの中で繁殖と食物連鎖を繰り返しながら、地球上で絶妙なバランスを保っているのです。これらの本能が遺伝子の中にどのように組み込まれているのかは、全くわかりません。(遺伝子科学で進んでいるゲノムの解析はあくまでも形態に関してです)馬やわしに関しても同じです。

神の知恵と創造の力の前に、人類はひれ伏す必要があるのです。そのとき、私たち1人1人についても、神様の主権による創造のすばらしさが分かってきます。命、動物の形態と本能、そして人間1人1人の創造について、神の知恵の全部はわからないものです。「人間がわかっている」と思い違っているところに罪の隙を与えるのです。主に聞いて従いつつ、人生を全うしましょう。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？

